

2019年10月25日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、顧客企業のアクチュアルデータを基に 広告予算最適化ツールをカスタマイズするサービス 「Private Cross Media Planner™」本格提供開始

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木禎久、以下、電通デジタル）は、顧客企業のアクチュアルデータを基に、より精緻な広告予算配分を導出可能なサービス「Private Cross Media Planner™（プライベート・クロスメディア・プランナー、以下、Private CMP）」の本格提供を開始します。

Private CMP は、顧客企業のリーチ・ビューアビリティ・態度変容効果といったアクチュアルデータを基に、広告の予算配分を最適化するツールをカスタマイズし、KPI を最大化する最適予算配分を導出します。これにより、顧客企業はよりデータドリブンに KGI に寄与する広告投資が可能になります。

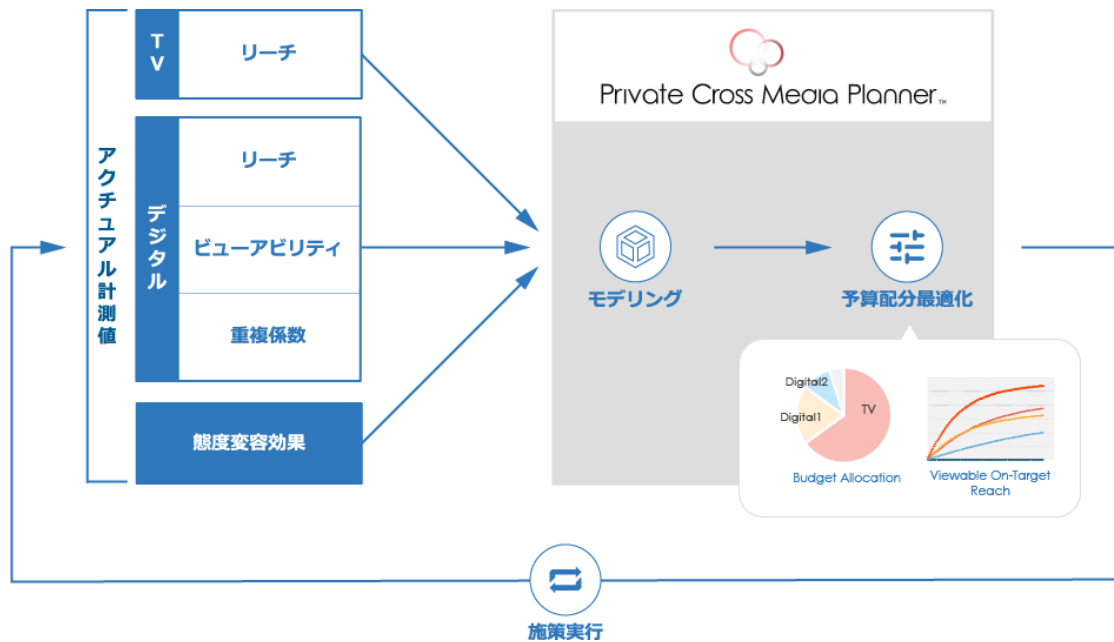
従来のメディアプランニングでは、プロモーション実施ごとに顧客企業が調査した広告効果の計測値を統合し、精緻なプランニング目標を設定しながら KGI を継続的に高めていくデータドリブンな仕組みの構築に課題がありました。また、アドフラウドやビューアビリティといったデジタル広告の価値毀損に関わる指標や、媒体ごとのターゲティング精度指標を含めた、統合的な KPI の最適化シミュレーションは容易ではありませんでした。

このような課題を背景に、顧客企業が蓄積している様々な計測値を取り込み、統計処理による最適な予算配分算出が可能になるスキームを構築し、この度の Private CMP の提供に至りました。顧客企業の計測値を用いることで、より精緻なプランニングや KPI の継続的な押し上げへの寄与が期待されます。

■サービス導入のメリット

- ・ 顧客企業ごとにカスタマイズ可能
※計測データをご提供頂く必要があります。他企業へのデータ転用は行いません。なお、計測データを保有しない場合には、データ補完や広告出稿に伴う計測ツール導入からサポートします。
- ・ 最大化させたい KPI の柔軟な選択が可能
- ・ 媒体ごとのターゲティング精度を加味し、効率的な広告配信が可能
- ・ デジタル広告のビューアビリティを加味し、無駄な広告投下の削減が可能
- ・ 媒体間でのアクチュアルデータの重複度合いを加味し、正しい KPI の算出が可能

<図 : 「Private CMP」の仕組みの概念図>



今後も電通デジタルは、デジタル広告の信頼性・透明性の更なる向上や、点在しているマーケティングデータの統合的な集約とその一元管理等の推進により、企業のマーケティング活動を支援してまいります。

< 「Private Cross Media Planner™」 ロゴマーク >



Private Cross Media Planner™

※Private Cross Media Planner は商標登録出願中です。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

島津・南口 TEL : 03-6217-6036

Email : press@dentsudigital.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル ソリューション戦略部

江端・水上 Email : mp_compass@dentsudigital.co.jp